

委員会報告書

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 大阪府済生会

定期巡回・随時対応型訪問介護看護 泉南

委員会名	定期巡回・随時対応型訪問介護看護 泉南		管理者	濱井 知美
	第 5 回 介護・医療連携推進会議		委員長	大西 隼司
			書記	萩谷 味加
開催日時	2019 年 9 月 17 日 (火) 10 時 00 分 ~ 11 時 00 分			
開催場所	応接室			
出席者	当該事業について知見を有する関係者 2名	地域包括支援センター 1名 泉南市健康福祉部長寿社会推進課地域支援推進係 1名	当事業者 濱井 知美 田中 裕之 大西 隼司 萩谷 味加	
欠席者	地域住民代表 1名	地域の医療関係者 1名	泉南市健康福祉部長寿社会推進課地域支援推進係 1名	
検討議題	1 開会のあいさつ 2 サービス実施状況・活動報告 3 事例紹介・意見交換会		4 介護報酬改定について 5 今後の会議開催予定	
議題番号				
2	サービス提供実績報告 『別紙①』参照。			
3	<p>事例紹介</p> <p>利用者様 S様 男性 要介護 1 91 歳</p> <p>家族状況 : 本人、一軒家にて独居 (妻は介護施設入所) 長女、大阪市在住 買い物や受診・外出の支援</p> <p>支援内容 : 自己導尿支援・服薬確認・清掃・配下膳・洗濯・健康チェック・見守り</p> <p>カンファレンス : 本人、自宅へ戻り生活できる。随時だけの訪問利用希望。 家人、高齢で一人暮らしのため不安・心配。</p> <p>自己導尿を行っているが、手技が曖昧な部分もあり、不衛生にしてしまう。食事制限があるが好きなものを多く食べてしまい健康状態が悪化してしまう。勝手に歩いて外出をするが、体力的に自宅に戻ってこれない。</p> <p>支援経過 : 自己導尿の促しと物品をセットすることで衛生的にできている。定期的服薬もセット、確認することで指示通り服用できている。外出し帰ってこれず行方がかめなくなるが、職員捜索により発見。</p> <p>今後の課題 : 現在、老人保健施設に入所中。在宅復帰を目指し療養されている。</p> <p>意見交換</p> <p>介護度が低いほど、身体支援があまり必要でなく、生活支援が主になる。(訪問回数が少なく、滞在時間が長い。) 介護度が高いほど、身体支援が主になる。(訪問回</p>			

議題番号	
	<p>数が多く、滞在時間が短い。) 滞在時間を短く、頻回の訪問を好まれる方も多い。独居の方が多く、家人が遠方のため、数回に分けて訪問できることに安心していただけている。希望や、状態に合わせて訪問ができる。</p> <p>外出され自力帰宅できない等、どこまで対応していけるのか。GPS等、居場所を特定できるものが必要となる。見つけ出した時、連れ帰る手段。ケアマネージャーや行政に連絡する、タクシーを呼ぶ、状態により警察や救急車を呼ぶ等、限られた中で何をどこまでできるのか。</p> <p>定期巡回サービスについての認知度が広がってきている。更に認知してもらうため啓発に努める。</p>
4	<p>介護報酬改定について 令和元年10月より、消費税の増加に伴い基本報酬がプラス改定となり、『介護職員等特定処遇加算』が新設となった。</p>
5	<p>次回開催予定日 2020年3月17日(火) 10:00 ~ 11:30</p> <p>(2019年度 自己評価・外部評価実施予定)</p>